

## 建設部会活動 報告書

中国本部建設部会

事業名称	公益社団法人日本技術士会 中国本部 建設部会 2024年度 建設部会 例会・講演会		
実施時期	2024年6月22日(土) 13:00~17:00		
実施場所	Teamsを使ったWeb配信		
参加人数	会場(広島35、鳥取4、山口4、島根7名) WEB 107名 合計 157名	CPD	3時間00分
事業内容 と感想	<p>【目的】近年、過疎化、高齢化、人手不足、災害激化、地球環境など、中国地方における様々な社会課題が顕在化しており、建設産業に携わる我々技術者には、抜本的な技術革新が求められています。講師に地域や環境課題に取り組み、独創的な成果を上げられた方をお招きし、技術者としての原点を改めて考える機会となることを期待しました。</p> <p>【講演内容】</p> <p>演題1:「CSRとも言える技術開発・製品開発への取組み等 ～知財・ブランドによる持続的可能な社会の実現に向けて～」 講師: 中村 廣義 氏 (中村建設株式会社 代表取締役)</p> <p>演題2:「インフラメンテナンスのための鳥獣対策技術」 講師: 一瀬 泰啓 氏 (一般社団法人日本イノシシコンサルタント協会 代表)</p> <p>【会員発表】</p> <p>発表1:「建設産業の経営実態と課題」: 北山 忍 氏 (sonny engineering) 発表2:「令和6年能登半島地震による斜面災害と災害レジリエンス」 河内 義文 氏 (株式会社ケイズラブ 代表取締役)</p> <p>【参加者の反応】 アンケート回答者 108名</p> <p>◎講演会の満足度 大変満足 38%、満足 46%、やや満足 13%、不満足 2%、大変不満 1%</p> <p>【評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 過去最多の 158 名の参加申し込みがあり、建設部会講演会が好評である。広島会場では最多の 35 名が参加。 中国地方以外から 51 名の Web 聴講者あり。</li> <li>② 8 割を超える方が満足と回答した。</li> <li>③ 多くの参加者が「興味深いテーマ」と高く評価してもらった。</li> <li>④ 講演者の実体験や独創性に基づく発表で高く評価してもらった。</li> <li>⑤ 意見交換会には 13 名が参加し、講師を交え情報交換が盛んで有益であった。</li> </ol> <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 音声や映像の乱れに対する不満が多くあった。 →様々な工夫をしているが不具合が残る。 多数聴講に適したシステム変更を検討できないか</li> <li>② 参加者の年齢が高く 30 代以下が非常に少ない。 (30代 1%、30代 4%、50代 30%、60代 35%、70代以上 30%) →現役世代が参加しやすい開催方法(平日開催等)を検討できないか</li> <li>③ 意見交換会の参加者が幹事に偏りしかも少ない →人的な繋がりを広げる工夫が必要</li> </ol>		



中村氏



一瀬氏



北山氏



河内氏